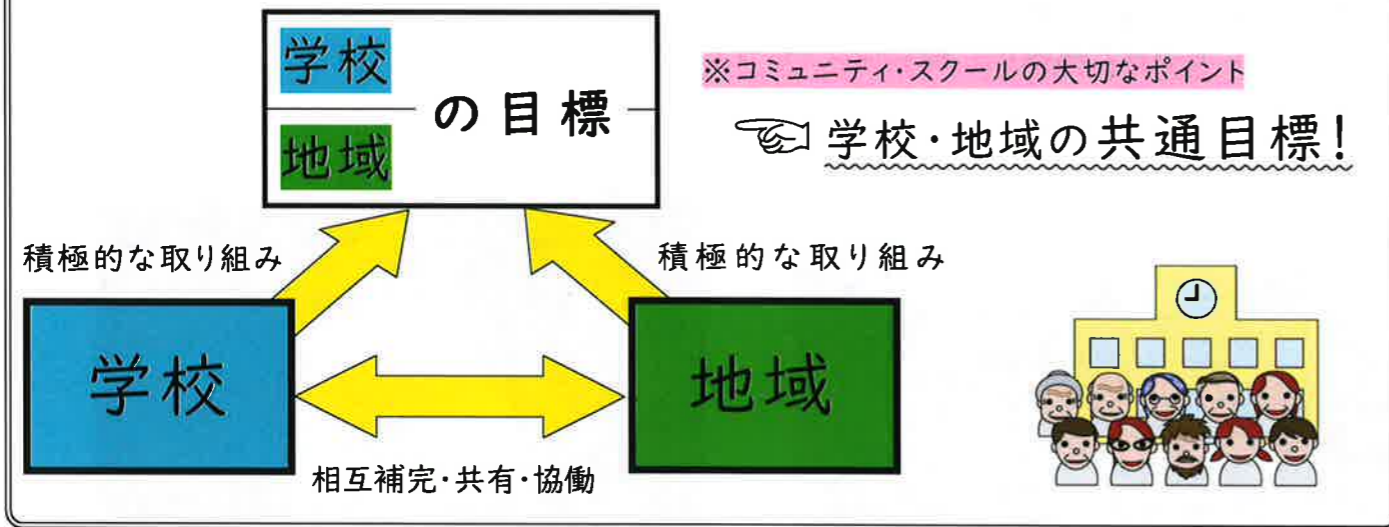


# 南中校区学校運営協議会だより

## テーマ：『自律』と『共生』

R4. 9月



子どもたちは『地域の宝』・『地域の未来』



上記の図は、『コミュニティ・スクール』の関係性をイメージしたものです。  
 子どもたちは、「地域の宝」であり、「地域の未来」を担う存在です。  
 そんな会見の子どもたちを「どのように育てていくのか。」、会見の子どもたちに「地域はどのような願いや思いを託していくのか。」「学校はどのような力をつけるべきなのか。」「地域の大人はどんな関わりができるだろうか。」を考えていくことが、南中校区学校運営協議会の役割です。  
 その取り組みの第一歩として、学校と地域が一体となって課題を共有し、確かな目標を共有することから始めなければなりません。  
 学校と地域がともに、「子どもの姿」や「めざす子ども像」、「地域の大人の役割」や「地域の未来像」について語り合う「熟議（お互いに意見や考えを交流する機会）」をする中から、それぞれが役割分担をしながら、できる人が、できることを、できる範囲で、持続的に取り組みを進めていくことが大切だと私たちは考えています。  
 【南部中学校区学校運営協議会】

### コミュニティ・スクールを知ることから始めよう!

鳥取県教育委員会事務局（小中学校課・社会教育課）が作成した YouTube です。  
 25分の動画を見れば、「コミュニティ・スクールが丸わかり!」 一度ご覧ください。


<https://youtu.be/RjXiREHKC0o>

 ①目的・必要性(約5分)

## 各学校では こんな活動をすすめています!

### 会見小

子どもたちの「生活科」や「総合的な学習」の授業で、CS委員やGTA(会見小独自の「児童の祖父母グループ」)、地域の大人たちが学習の指導、支援、協力をしています。



▲ 夏野菜植え (2年生)



▲ 柿の摘蕾体験 (3年生)



▲ 田植え (5年生)

サツマイモの苗植え(1・2年生)や柿の学習(3年生)、ホタルの学習(4年生)、米づくり(5年生)、平和の桜の学習(6年生)など、地域の大人たちの知恵や技、思いを地域の大人から直接伝えていくことが、この学習の大きな意義(ねらい)です。  
 地域の子どもたちを地域で育てよう!  
 「あいみ」が大好きな子どもにしてやろう!  
 それが私たち大人の願いであり、責任です。


 ②制度の説明(約15分)
 
 ③推進のポイント(約5分)

# 南部中

南部中学校では、『学習支援』、『地域交流』、『生活環境』の3つの部で活動しています。コロナ禍でなかなか生徒との交流ができませんが、「できることを」、「できるように」をモットーに活動しています。



※今年の「花植え活動」応援隊を募集しています。詳しくはポスターをご覧ください。中学校にお問い合わせください。

## 花植え活動

6つの花壇と52鉢ものプランターに500株以上のパンジー、ピオラ、紫陽花の苗とチューリップの球根を植えました。

卒業式には3年生の花道を飾り、入学式の頃には新入生を温かく迎える準備ができました。

[写真は昨年度の様子]

※今年は10月26日の予定です。



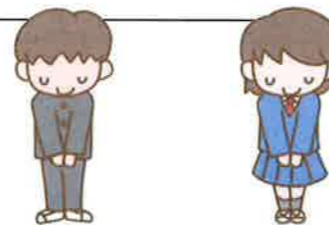
## あいさつ運動（毎月1日、15日）・登下校の交通安全指導



生徒会代議委員会と一緒に、月2回の「あいさつ運動」をしています。大きな声であいさつをするのが少し恥ずかしい年頃のようにですが、大人が明るく声をかけると、あいさつを返してくれるようになりました。

自分から進んで、気持ちのよい、相手に伝わるあいさつができるような子どもにしたいですね。

地域の大人からも積極的にあいさつをしていきましょう！



# 会見第二小



会見第二小学校は、保護者と地域学校協働活動推進員からなるCS（学校運営協議会）の組織と、池野、鶴田の地域の方々による「二小の子を育てる会」が一緒になって様々な学校活動をサポートしています。

会見二小は児童数17名の鳥取県で一番小さい学校です。小規模特認校制度が取り入れられており、地域の方と触れ合いながらの体験活動が一つの特色となっています。山菜採り遠足、ソバの栽培やそば打ち体験、春季運動会など、地域の方々も参加する楽しい活動が盛りだくさんです。環境整備なども学校と地域が一緒になって行っています。



▲運動会(R4.5.22)



▲山菜採り遠足(昨年度：R3.4.17)



▲ソバの種まき(R4.7.25)



## [編集後記]

南部町のコミュニティ・スクールの取り組みは、15年近い歴史があります。昔は地域と学校、大人と子どもが一緒になって何かをすることは、ごく当たり前の風景でした。近所の怖いおっちゃんに叱られたり、大きな子が小さな子の面倒を見たり……。そんなことの繰り返しによって、子どもは正しく、明るく、たくましく、心豊かに育ち、将来の地域を担う立派な大人へと成長していったものです。南中校区学校運営協議会は、そんな「あいみの里づくり」をめざして活動していきます。